



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 食生活改善推進員協議会支援業務	総会、研修会、学習会を開催し、推進員の活動を支援する。	研修会等延べ参加者数	人	287	283	284	260
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 食生活改善推進員数	加入者数	人	300	300	300	200
			252	215	206	
2 食生活改善推進員地域活動回数	離乳食教室、男性料理教室などの活動回数	回	3,000	3,000	3,000	2,500
			2,585	3,192	3,940	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	推進員は地域住民に対して、食育の推進や食生活改善の活動を行うボランティアとして市町村が養成していることから、廃止すると健康づくり事業の推進に影響がある。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	未達成の理由として、推進員の高齢化や新会員の減少などが影響していることから、養成講座の充実と若い世代への参加を促すための啓発を強化する。推進員は全国の市町村に協議会を持ち、社会的な評価を得ている団体であるため、今後、活動時の日当等の予算化を検討する。また、推進員が学習するための機会を増やし、常に関わっていくためには、専門職(栄養士)の配置増が必要であり、推進員の遣り甲斐や活発な活動につながる効果が期待できる。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	推進員の高齢化、減員対策として、推進員の親睦を図り、遣り甲斐につなげるための全体学習会を継続して実施する。また、推進員が遣り甲斐や目的をもって、活発な地域活動ができるよう、学習の機会を増やすなどの関わりを持つためには、気軽に相談ができたり、支援体制の整備が必要であるため、専門職の配置について検討する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	推進員が自らの役割や目的をもって、地域活動ができるよう、エプロンシアターなどの学習教材を使って具体的でわかりやすい学習会を開催した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	推進活動は活発に行われているものの、地域活動で校区の取り組み方に温度差がかなりあるように思われる。今後は、リーダー研修のみならず、全体集会を呼びかけ、活動が活発に行われている所の事例発表等を行い、全体の活性化を図ることが必要。	評価責任者 中野幸子
------------------	---	---------------